

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)事業評価シート(令和5年度実施事業)

|                       |   |       |         |          |                   |
|-----------------------|---|-------|---------|----------|-------------------|
| 事業の名称<br>(活用した交付金)    | 事業No.1 「子育て、子育てにやさしい」京都創生プロジェクト事業   | 事業期間  | 令和3～7年度 | 事業費(補助率) | 6,010,400円(1/2補助) |
| 実施計画の作成主体<br>(広域連携対象) | 京都府(福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、城陽市、八幡市、京田辺市、南丹市、木津川市、井手町、精華町、伊根町、与謝野町、宇治市)  | 事業担当課 | 企画調整課   |          |                   |
| 事業概要                  | 京都府の各地域が連携しつつ、「子育てにやさしいまち(誰もが住みやすいまち)の核づくり」や「地域での仕事づくり」、「関係人口の創出、若者定着促進」に取り組みながら、若者・子育て世代がそれぞれのニーズに応じた自身の考えるベストな居住地を京都府内で選択できる環境を創出し、府外への転出を抑制するとともに、京都の魅力(文化、自然、食など)に関心を持って移住を希望する者が自身の生活環境のニーズが叶えられる地域を選択できる状態を整えることで、府外からの移住促進を図る。 |       |         |          |                   |

| 事業取り組み内容  | 事業取り組み成果   | 事業実施写真等  |  |  |   |   |
|---|--|--|--|--|---|---|
| <p>若者が仕事を求めて転出するという状況に歯止めをかけるため、下記の事業を実施した。</p> <p>①魅力ある企業や起業家の誘致を行うために、企業誘致及び移住・定住の推進に係るプロモーション映像を制作し、デジタル広告により広く情報発信を行った。<br/>また、亀岡市移住・定住促進施設「離れ」にのうみを活用し、地方で起業を検討している人を対象としたセミナーを開催した。</p> <p>②市内に誰もが働きやすい職場づくりをする企業を増やしていくことを目的とし、市内企業の協力を得て、若手従業員や子育て中の従業員からヒアリングを行い、その内容をもとに働き方改革ツールキットを制作した。そして、完成したツールキットを活用し、市内企業を対象とした体験会を実施し、多くの企業に活用していただいた。<br/>また、子育て世代を含む若者世代が働きやすい職場づくりを推進している市内企業を紹介する記事を制作し、市のHPにおいて紹介した。</p> | <p>①起業検討者を対象としたデジタル広告やセミナーなどにより、令和5年度の市内における新規起業家は、当課が把握しているだけで7件となり、移住・定住や関係人口の創出につなげることができた。</p> <p>②市内企業で働いている人のリアルな情報をツールキットに落とし込んだ事により、ツールキットを体験していただいた多くの市内企業の皆さんに、市内の企業内で起きている様々な事案を自分事としてとらえていただき、自社の規則などを見直していただける機会となった。<br/>また、実際に規則を修正された企業もあった。</p> |  <p>企業誘致及び移住・定住プロモーション映像</p> |  <p>起業希望者向けセミナー</p> |  <p>働き方改革ツールキット</p> |  <p>働き方改革セミナー</p> |  <p>市内企業向けツールキット体験会</p> |

重要業績評価指標(KPI)の達成状況、評価

| KPI①                     | 指標値(R6.3)      | 達成/不達成 | KPI②                 | 指標値(R6.3) | 達成/不達成 | KPI③                       | 指標値(R6.3) | 達成/不達成 | KPI④ | 指標値(R6.3) | 達成/不達成 |
|--------------------------|----------------|--------|----------------------|-----------|--------|----------------------------|-----------|--------|------|-----------|--------|
| モデル地域市町村における人口の社会減解消(全体) | -426人          | 不達成    | 市町村による重点取組エリアの設定(全体) | 19箇所      | 達成     | エリア内の起業数、雇用数等(関係人口の創出)(全体) | 235件      | /      | /    | 実績値(R6.3) | /      |
|                          | 実績値(R6.3)      |        |                      | 実績値(R6.3) |        |                            |           |        |      |           |        |
|                          | -1,134人(+241人) |        |                      | 25箇所      |        |                            | 未発表       |        |      |           |        |

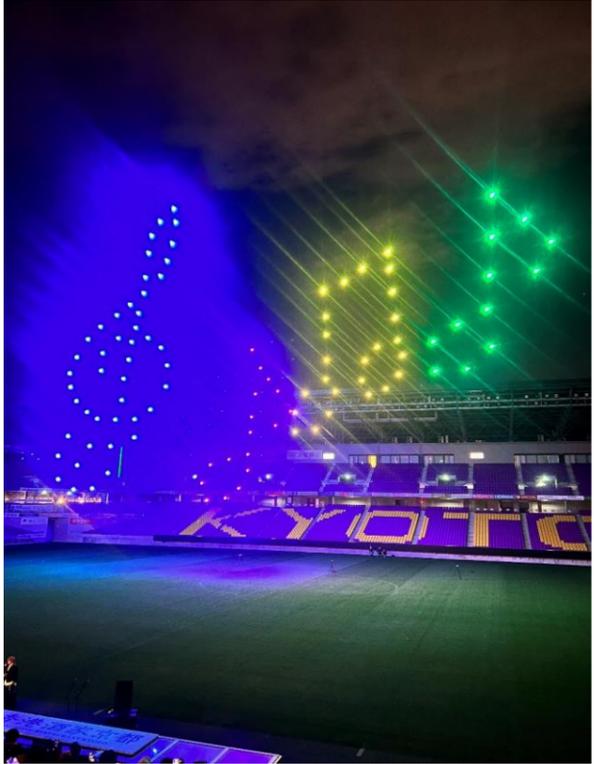
外部有識者会議 評価・意見(亀岡市総合戦略推進会議)

【地方創生に効果があった。】

- ・働き方改革ツールキットについて、ゲーム感覚で楽しみながら自身の考え方を整理することができるので、ぜひ継続して取り組んでほしい。
- ・亀岡市に居住する方に住み続けてもらうことを重要視して取り組んでいくのも、数ある手法のうちの1つである。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)事業評価シート(令和5年度実施事業)

|                       |  |       |                                |          |                    |
|-----------------------|--|-------|--------------------------------|----------|--------------------|
| 事業の名称<br>(活用した交付金)    | 事業No.2 あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を ～みんなが主役の地域振興事業～   | 事業期間  | 令和3～7年度                        | 事業費(補助率) | 69,282,727円(1/2補助) |
| 実施計画の作成主体<br>(広域連携対象) | 京都府(京都市、福知山市、綾部市、宇治市、亀岡市、城陽市、八幡市、京田辺市、南丹市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村、京丹波町)   | 事業担当課 | 文化芸術課(文化資料館) 商工観光課 農林振興課 建築住宅課 |          |                    |
| 事業概要                  | 京都府全域において取り組んできた観光地域づくりのこれまでの成果を活かしつつ、「人口減少時代においても活力あふれる地域コミュニティづくり」や「若者等の地元回帰に向けた、地域の魅力ある仕事づくり」、「暮らしやすさ向上による移住定住の促進」、「外部から稼ぐ地域内経済循環の実現」に取り組み、観光を入口とした産業振興、雇用創出なども含めた地域振興に繋げる。 |       |                                |          |                    |

| 事業取り組み内容         |  | 事業取り組み成果   | 事業実施写真等  |  |
|------------------|--|--|--|--|
| 文化芸術課<br>(文化資料館) | 文化芸術課(文化資料館)では、ふるさと亀岡の魅力を再発見し、地域への理解と愛着を深めてもらうことを目的として、特別展(「第39回特別展 足利尊氏」と、企画展(「第72回企画展 亀岡近代学校の成立と藩校・地域社会」)を開催した。各展示会では、関連事業として講演会を3回、学芸員展による展示解説を2～3回実施した。また、講演会についてはオンラインによる配信も行った。  | <p>第39回特別展では、篠村八幡宮で挙兵し、倒幕を成し遂げた、本市ゆかりの足利尊氏について紹介した(観覧者数691名)。関連事業として尊氏と八幡宮との関係やその生涯についての講演会を実施(2回計95名参加)するとともに、展示解説も実施した(3回計36名参加)。</p> <p>第72回企画展では、明治5年の学制公布から学校開設150周年を記念し、近代学校の教育やその背景となった亀山藩校・村々の教育について紹介した(観覧者数286名)。関連事業として近代学校成立と意義や丹波亀山藩の幕末政治と藩校邁訓堂についての講演会を実施(2回計56名参加)するとともに、展示解説も実施した(2回計10名参加)。</p> <p>本年度の展示会では、馴染みのある有名な人物について取り上げるなど、より地域の歴史に親しみやすい工夫することで、地域への興味関心や愛着に繋がる場を提供した。</p>  |   |   |
|                  | 第39回特別展講演会「足利将軍家と新八幡宮ー篠村八幡宮を起点としてー   | 第72回企画展展示解説「亀岡市域における近代学校の成立と意義」  |  |  |
| 商工観光課            | <p>商工観光課では、点在する地域資源や交通拠点を結び仕組みとして、事業者等と協力しレンタサイクル事業を展開することで滞在時間の延長に努めた。</p> <p>また、丹波亀山城下町に「城下町歴史街並み案内所」を設け、地域資源を活用したコミュニティ交流拠点として運営したほか、無形民俗文化財である亀岡祭山鉾行事への支援を通じて、民俗行事を活用した賑わいの創出及び交流関係人口の創出を図った。</p> <p>加えて、地域の多様な事業者が参画する(一社)森の京都地域振興社による事業実施により、各地域の取り組みを横断的に調整し、地域資源のブラッシュアップ、地域の魅力発信、知名度の向上等を図り、地域全体で交流人口の増加等を推進する基礎を構築した。</p> <p>商工業分野では、イノベーションの創発と雇用創出を目的として、サンガスタジアムbyKYOCERAにおけるベンチャー企業等の実証実験を支援する「サンガスタジアム・イノベーション・フィールド実証支援事業」を実施した。</p> <p>また、京都サンガのホームタウンとして、京都サンガを活用した商業振興と地域活性化を図るとともにさらなる応援体制を作るため亀岡市商店街連盟が開催した「サンガ応援商店街」事業に対し、京都サンガ応援商店街づくり支援事業補助金を交付した。</p> | <p>スマートロックシステムを導入した24時間利用可能・カード決済可能・乗り捨て可能な観光レンタサイクル事業により延べ1,099台の利用があり、域内周遊推進に寄与した。また、乗入ポートを1箇所トロッコ亀岡駅に移転させ利便性の向上へ繋げた。</p> <p>旧丹波亀山城下町の周遊拠点として町屋を改装した「城下町歴史街並み案内所」では2,174名の案内対応を行った。案内所は亀岡祭山鉾行事の際にも情報発信拠点として活用されたほか、亀岡駅において行燈等の展示を行いPRに努めた。</p> <p>また、(一社)森の京都地域振興社による事業実施により広域連携を図り、広域的に地域の魅力開発や知名度向上、更には交流人口の拡大に努めた。</p> <p>「サンガスタジアム・イノベーション・フィールド実証支援事業」では、昨年度からの継続事業者を含む6社の実証実験の伴走支援を行ったほか、クラウドソーシング等の新たな働き方に適応するスキル取得を支援するためのオンラインスキルアップ支援補助金を1件、創業によって雇用の創出及び地域経済力の向上を図ることを目的に、亀岡市内で新たに創業した事業者に対し創業支援助成金を3件交付した。</p> <p>サンガ応援商店街事業では、北町商店街サンガ応援デーとして、サンガホームゲーム時に元サンガ選手を招いてイベントを実施されたほか、オリジナルTシャツを作成し各種イベント実施時に着用することで、地域のサンガ応援意識の向上に一定の効果があつた。</p> |  |  |
|                  | レンタサイクル事業  | 城下町歴史街並み案内所  | サンガスタジアム・イノベーション・フィールド実証支援事業   |  |

農林振興課

亀岡産農畜産物の高付加価値化による所得向上事業として、7事業を実施した。

- ①食フェスの開催
- ②市内保育所・認定こども園・小学校・中学校・義務教育学校において食農学習推進事業及び地元産農産物の給食利用を実施。さらに、「おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾」のレシピ集完成記念トークカフェや「食」にひと手間講座」の開催。
- ③市内産畜産堆肥の製造販売者及び使用者への助成。
- ④有機JAS取得支援及び地元産有機農産物の給食利用。
- ⑤亀岡牛安定供給体制推進事業を実施した。(亀岡牛安定供給)
- ⑥特産品の生産振興として、小豆や丹波くりの生産基盤確立強化及び生産拡大への補助を行い、生産者の所得向上に向けた体制整備を図った。(特産品振興)
- ⑦農の担い手新規就農支援事業を実施し、新規就農者の農業経営改善及び能力向上に対する支援を行った。(担い手新規就農支援)

- ①食フェスの来場者数は、3,500人となった。亀岡市農産物のPRにつながった。(食フェス)
- ②食農学習推進事業を保育所・認定こども園7園、小学校15校、中学校1校、義務教育学校1校で実施した。また、地元産農産物の給食利用を小学校年8回、保育所・こども園ともに年4回実施した。さらに、「おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾」のレシピ集完成記念トークカフェと「食」にひと手間講座を3回、計4回開催した。(食農学習・料理塾・レシピ集・「食」にひと手間講座)
- ③市内産畜産堆肥の製造販売者1事業者、使用者36団体への助成を行った。(安全・安心農産物補助)
- ④個人・団体に対して有機JAS取得支援助成金を5件交付した。また、地元産有機農産物の給食利用を保育所・こども園8園で月1回計12回実施した。(有機JAS取得支援・地元産有機農産物給食利用)
- ⑤国際的な衛生管理基準(HACCP)に基づく亀岡牛の安定的な生産を推進し、亀岡牛と畜頭数は462頭となった。(亀岡牛安定供給)
- ⑥小豆の作付面積が847,257㎡となった。(特産品振興)
- ⑦事務執行期間が合致しなかったことから、令和5年度は本交付金の充当を見送った。



食フェスの開催



食フェスの様子



おばちゃんの亀岡ふるさと料理塾

建築住宅課

京都府移住促進条例により指定する「移住促進特別区域」内において、移住者の起業のスタートアップを支援するため、店舗・事務所等の改修、設備投資へ補助金を交付した。

令和5年度は7つの起業のスタートアップを支援し、移住定住の促進及び地域の活性化につながった。(保津地区、東別院地区×2件、千歳地区、稗田野地区、旭地区、宮前地区)



起業支援による空き家改修 (地域のフレイル対策に係るフィットネスジム)



起業支援による空き家改修 (古民家を改修し民泊運営)

重要業績評価指標 (KPI) の達成状況、評価

| KPI①                             | 指標値(R6.3) | 達成/不達成 | KPI②           | 指標値(R6.3) | 達成/不達成 | KPI③                        | 指標値(R6.3) | 達成/不達成 | KPI④              | 指標値(R6.3) | 達成/不達成 |
|----------------------------------|-----------|--------|----------------|-----------|--------|-----------------------------|-----------|--------|-------------------|-----------|--------|
| 地域への移住者、地域活動にかかわった地域外の人の延べ人数(全体) | 924人      | 達成     | 地域での新規就職者数(全体) | 1,373人    | 不達成    | 本事業により空き家等を活用して交流を行う拠点数(全体) | 7箇所       | 達成     | 地域の一人当たり所得向上額(全体) | 183.6千円   | 不達成    |
|                                  | 実績値(R6.3) |        |                | 実績値(R6.3) |        |                             | 実績値(R6.3) |        |                   |           |        |
|                                  | 2,386人    |        |                | 835人      |        |                             | 9箇所       |        |                   | 165千円     |        |

外部有識者会議 評価・意見(亀岡市総合戦略推進会議)

【地方創生に効果があった。】

- ・地域の歴史に即した特産品や食品を押し出すなど、文化を上手く活用していく意識が必要となっている。
- ・より多くの人に亀岡について知ってもらうことで、特産品の消費拡大や移住の促進へと繋がっていく。少し先の未来を見据えつつ事業に取り組むことが重要。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)事業評価シート(令和5年度実施事業)

|                       |  |       |         |          |                   |
|-----------------------|--|-------|---------|----------|-------------------|
| 事業の名称<br>(活用した交付金)    | 事業No.3 移住促進により地域を元気にするプロジェクト「移住するなら京都」   | 事業期間  | 令和4～8年度 | 事業費(補助率) | 1,800,000円(1/2補助) |
| 実施計画の作成主体<br>(広域連携対象) | 京都府(京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、城陽市、京丹後市、南丹市、和束町、京丹波町、与謝野町)   | 事業担当課 | 建築住宅課   |          |                   |
| 事業概要                  | 移住者等を地域に積極的に受け入れ、移住者や関係人口が活躍しやすい地域を各地に展開するとともに、地域の特色に合わせた活躍テーマを明示することにより、自分の実現したい生き方や追いかけてみたいテーマに合った生活やダイバーシティに惹かれ様々な知識・経験・技能等を持った人が訪れ、活動し、暮らすことができる、多くの移住検討者に選ばれる「移住するなら京都」への取り組みが地域の活性化に繋がるという好循環を目指す。 |       |         |          |                   |

| 事業取り組み内容   | 事業取り組み成果   | 事業実施写真等   |
|--|--|---|
| <p>移住条例に基づき認定した「移住者受入・活躍応援計画」に基づき、市町村が移住者に期待する人物像を対外的に示した上でソフトハード含めた移住者の受入と移住者の活躍を地域の活力づくりに繋げる取組を行う地域において、本取組に参画する移住者を戦略的に地域の希望する住宅や集落等に誘導するため、登録された空き家の改修費用に対し補助金を交付した。</p> | <p>令和5年度は2件該当し、移住者が定住するための居住地を整備したことに伴い、地域の活性化に寄与することができたと考える。</p> |  <p>補助金を活用した空き家改修事例</p>  <p>補助金を活用した空き家改修事例</p> |

重要業績評価指標(KPI)の達成状況、評価

| KPI①                           | 指標値(R6.3) | 達成/不達成 | KPI②   | 指標値(R6.3) | 達成/不達成 | KPI③ | 指標値(R5.3) | 達成/不達成 | KPI④ | 指標値(R5.3) | 達成/不達成 |
|--------------------------------|-----------|--------|--|-----------|--------|------|-----------|--------|------|-----------|--------|
| 京都府条例に基づく「移住促進特別区域」へ移住した人数(年間) | 500人      | 不達成    | 京都府条例に基づく「移住促進特別区域」のうち、「移住者受入・活躍応援計画」を策定し地域の特性に応じた移住者や関係人口と協働で地域作りに取り組む地域数(新規取り組み地域) | 7地域       | 達成     | /    | /         | /      | /    | /         | /      |
|                                | 実績値(R6.3) |        |  | 実績値(R6.3) |        |      | 実績値(R5.3) |        |      | 実績値(R5.3) |        |
|                                | 354人      |        |  | 8地域       |        |      | /         |        |      | /         |        |

外部有識者会議 評価・意見(亀岡市総合戦略推進会議)

【地方創生に効果があった。】  
 ・亀岡市内に限らず、京都府下全域において、空き家バンクへの空き家登録をアナウンスすることが必要となる。  
 ・より多くの移住希望者に補助金制度を活用してもらい、亀岡に移住してもらえるよう事業を進めてほしい。